

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）からのメール情報 第70号
2019.2.28

各位

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）

時下益々ご清栄のことと存じます。

日頃より地域農政の推進に格段のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

農政に関するメール情報を以下のとおり配信いたします。

皆様の地域の農業を元気にする取組に、少しでもお役に立てば幸いに存じます。

~~今回お知らせする情報~~

- 平成 30 年度近畿地域未来につながる持続可能な農業推進シンポジウムの開催について
- 「農福連携推進フォーラム」の開催及び一般傍聴について
- 平成 31 年全国山火事予防運動の実施について
- 平成 29 年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況について
- 平成 30 年産米の相対取引価格・数量について（平成 31 年 1 月）
- 近畿農政局「消費者の部屋」3 月展示（食品の表示と米・牛のトレーサビリティ制度について）のご案内
- フォトレポート（京都府拠点）

CC BY-NC-SA

○ 平成 30 年度近畿地域未来につながる持続可能な農業推進シンポジウムの開催について

近畿農政局では、農業生産活動の持続性を確保するため、環境への負荷を低減する取組として、有機農業を始めとする環境保全型農業を推進してきたほか、食品安全・環境保全・労働安全など持続可能性を確保するための一連の取組である GAP を推進しています。

今般、近畿地域において、持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善に取り組んでいる生産者を表彰し、その取組を紹介することによって、関係者の意欲を喚起し、理解を深めることを目的にシンポジウムを開催します。

また、シンポジウムでは、受賞者に取組事例を発表していただきます。有機農業を始めとする環境保全型農業や GAP にご関心のある生産者、流通業者、行政等の皆さまのご参加をお待ちしています。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/190221.html>

【お問い合わせ先】

生産部生産技術環境課

担当者：高須、前野

T E L：075-414-9722

○ 「農福連携推進フォーラム」の開催及び一般傍聴について

農福連携は、農業側と福祉側の双方の課題解決につながる重要な取組として注目されており、福祉側のみならず、農業・農村の現場でも取組が拡大しています。

農林水産省では、農福連携の支援策を講じると共に、厚生労働省と連携を図りつつ各地方ブロックにおける農福連携シンポジウムを開催する等、普及啓発に取り組んでいます。

本フォーラムでは、第 1 部として、” 「農」と「福」のマッチング” をテーマに、基調報告と共に、異なる視点でマッチングに取り組む各団体からの事例報告、パネルディスカッション及び行政による平成 31 年度の新たな取組を紹介します。

また、第 2 部では、農業者のワークショップ型特別セッションとして、農福連携を実践している農業者をアドバイザーに迎え、参加者と農福連携での悩み

や課題解決方策、知りたい情報を語り合い、「農福連携をより一層良き方向に推進するための」ヒントを見つけていただく場を設けます。
農福連携に関心のある方や、これから農福連携に取り組みたい方にとって、農福連携の現状や課題を知る良い機会ですので、是非、御参加ください。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/190221.html>

【お問い合わせ先】

農村振興局農村政策部都市農村交流課

担当者：富所、灘岡、茂岡、稻田

T E L：03-3502-5948

○ 平成 31 年全国山火事予防運動の実施について

林野庁は「平成 31 年全国山火事予防運動」を 3 月 1 日（金曜日）から 7 日（木曜日）にかけて実施します。

平成 31 年の統一標語は「忘れない 豊かな森と 火の怖さ」です。

山火事予防運動について御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hogo/190221.html>

【お問い合わせ先】

林野庁森林整備部研究指導課森林保護対策室

担当者：志磨、高野

T E L：03-3502-1063

○ 平成 29 年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況について

平成 29 年度に発生した農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況について、農林水産省が調査を実施した結果、農薬の使用に伴う人に対する事故や被害は、前年度の 19 件に対し、21 件（うち死亡事故は 1 件）でした。原因別では、農薬散布時のマスクやメガネ等の防護装備が不十分であったため生じた被害や、飲料の空容器に移し替えた農薬を誤って飲んだ事故が発生しています。

また、農薬の飛散により、健康被害が生じた事例も報告されています。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。
<http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/190215.html>

【お問い合わせ先】

消費・安全局農産安全管理課農薬対策室

担当者：農薬指導班 雨宮、大石

T E L : 03-3501-3965

○ 平成 30 年産米の相対取引価格・数量について（平成 31 年 1 月）

平成 30 年産からの米政策の見直しにおいては、生産者や集荷業者・団体の主体的な経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができるよう環境整備を進めることとしており、その一環として、平成 26 年 3 月から米の流通に係るよりきめ細かい需給・価格情報、販売進捗・在庫情報等の提供を行っています。

今回、平成 31 年 1 月の相対取引価格・数量について、米の出荷販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめましたので公表します。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。
http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/kikaku/190118.html

【お問い合わせ先】

政策統括官付農産企画課

担当者：佐久間、角、並松

T E L : 03-6738-8973

○ 近畿農政局「消費者の部屋」3 月展示（食品の表示と米・牛のトレーサビリティ制度について）のご案内

近畿農政局「消費者の部屋」では、農林水産行政や食生活などについての情報提供を行っています。

今回の「消費者の部屋」特別展示は、『知っておきたい！～食品の表示と米・牛のトレーサビリティ制度～』をテーマに行います。

ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

展示期間：平成 31 年 3 月 11 日（月曜日）～3 月 29 日（金曜日） 8 時 30 分～17 時（土・日、祝日を除きます。初日は 13 時から、最終日は正午までとなります。）

展示場所： 近畿農政局 1 階消費者の部屋「特別展示コーナー」
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
市営地下鉄「丸太町」駅下車徒歩約 15 分（京都府庁西隣り）

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。
<http://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/190225.html>

【お問い合わせ先】
〈消費者の部屋については〉
消費・安全部消費生活課
担当者：米田、片岡
T E L：075-414-9761

〈展示内容については〉
食品表示制度、牛トレーサビリティ制度については
消費・安全部表示・規格課
担当者：矢治、中井
T E L：075-414-9082

米トレーサビリティ制度については
消費・安全部流通監視課
担当者：後藤、山下
T E L：075-414-9731

○ フォトレポート 近畿農政局地方参事官室（京都府拠点）

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。
<http://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/syasin.html>

【お問い合わせ先】
近畿農政局地方参事官室（京都府拠点）
T E L：075-414-9015

☆編集後記☆

サーカスをみにいってきました！
全演技すごくて感動しました。私が個人的に一番驚いたのは、
動物たちのショーです。ホワイトライオンがバランスをとったり、

大きなゾウが前足2本で自分の体重をささえて、おしりちょっとだけあげて逆立ちしたことです。動物たちがそんなことができるなんてすごいなあって思いました(MS)



○ 農林水産業流通マッチングナビ agreach のご紹介

agreach は、生産者・卸売業者・バイヤーがそれぞれの企業情報を登録し、互いに取引先となる企業を探索できる仕組みです。農林水産物の生産・流通に関わる事業者の販売先／仕入先の開拓にご活用いただけます。

※ agreach の Web サイトは、以下のリンク先にアクセスしてください。
<https://www.agreach.jp/>

○ 農業研究見える化システム アグリサーチャーのご紹介

アグリサーチャーは、最新の研究成果と研究者の連絡先を簡単に検索できる情報公開（Web）システムです。是非、興味のある成果・技術を探して研究者に相談するなど、本システムを生産現場の問題解決にご活用ください！

※ アグリサーチャーの Web サイトは、以下のリンク先にアクセスしてください。
<https://mieruka.dc.affrc.go.jp/>

○ 農業資材比較サービス「AGMIRU」のご紹介

農業資材比較サービス「AGMIRU」は、農業資材の希望条件を登録すると、複数の販売店から商品の見積もりが届くサービスです。

※ 「AGMIRU」の Web サイトは、以下のリンク先にアクセスしてください。
（ソフトバンク・テクノロジー（株）が運営するサイト「AGMIRU」に移動します。）
<https://agmiru.com/>



